

令和5年度九州沖縄農業試験研究推進会議 経営研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 畑作推進部会長（主） 長田健二
水田作推進部会長 大段秀記
畜産・草地推進部会長 佐藤 尚
野菜・花き推進部会長 渡辺慎一

1. 趣旨

令和3年に農林水産省が「みどりの食料システム戦略」を公表し、2050年までに目指す姿の一つとして、「有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大」が示された。2020年度の同面積25,200haから見れば、いかに挑戦的な数字か容易に理解でき、それだけイノベーションへの期待が大きい、といえよう。もっとも農業経営研究では、有機農業の研究成果が多くない。例えば、日本農業経営学会では、今秋の大会シンポジウム「資源・環境制約下における農業経営の展望と経営戦略」で有機農業が初めて取り上げられるものの、有機農業そのものがテーマではない。

本年度の経営研究会は、2008年度以来15年振りに「有機農業」をテーマに知識の獲得や情報の移転などを図り、現在ないし未来の研究推進の一助としたい。いわば初級・中級編である。

2. 日時 令和5年10月18日（水）13:15～16:00

3. 方法 Teams（Microsoft社）を用いたオンライン開催

4. 内容

テーマ「有機農業への多面的接近：主に技術開発・歴史・地域・消費者像・付加価値の側面から」

1) 特別報告「農研機構における有機栽培技術の開発状況」

三浦重典（農研機構九州沖縄農業研究センター）

2) 報告「有機農業の多様性と需要主導性：価値探求の問題から日本の消費者像まで（仮）」

森江昌史（農研機構九州沖縄農業研究センター）

3) 報告「宮崎県綾町における有機農業の取組とその歴史（仮）」

服部明彦・大西千絵・馬場研太（農研機構九州沖縄農業研究センター）

4) 報告「有機農産物の付加価値形成：宮崎県綾町とフランス・コランス村の比較（仮）」

大西千絵・馬場研太・服部明彦（農研機構九州沖縄農業研究センター）

5) 総合討論

5. 参集範囲 九州沖縄地域の公立試験研究機関、農研機構、その他の部会長が必要と認める者

6. 申込み・問合せ先

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ

森江昌史 E-mail : mmorie@affrc.go.jp Tel. 096-242-7893

なお申込みは、10月11日（水）までに【所属・役職・氏名・メールアドレス】を明記の上、森江にメールを送ってください。